



地域の特性を活かしていく（観光地エリア景観計画）

下田の人々が大切にしているもの

日々の暮らしが とても大切

市では、平成21年に「下田市景観計画」を策定し、市内全域における景観（下田まち遺産）の保全・創出に取り組んでいます。

下田まち遺産は、「自然・歴史・文化・人の暮らし」に関連する市の貴重な資源であり、認定数は現在154件に及びます。

これら下田まち遺産がいくら素晴らしい場所にも、その場所にふさわしく思えない建物や視界を遮る工作物などがあると、残念ながらその魅力は損なわれてしまいます。

大切なことは、ある場所から視界に入る自然と建物・工作物などが調

和した、美しい空間であることです。さらに大切なことは、その場所に下田特有の「人の暮らし」が介在することです。

自然や建物がただ存在するだけでなく、過去から現代へ脈々と受け継がれる人々の暮らし、日々の生活があつてこそ下田ならではの景観が成り立ち、美しさを奏でます。

周辺環境との調和

このような考え方から、「観光地エリア景観計画」の策定を随時進めています。

各地域の自然、歴史、文化、人の暮らしと施設（建物、案内看板など）を調和させ、計画的に整備することで、より一層観光地として輝くよう、



蓮台寺では計画に基づき手湯を整備しました。そのほかにも湯めぐり企画案の実施など、温泉地としての魅力を創出しています。

庁内、有識者、地元の方々と話し合い（地域景観ミーティング）をしながら作成します。



市では既に「ペリーロード」「蓮台寺温泉」エリアを策定し、整備を行っています。

令和元年度は「吉佐美大浜周辺・田牛」「須崎漁港周辺」の2か所を策定中です。

未来に残すために

下田まち遺産は、私たちの共有財産であり、次世代に継承すべき、そして下田の人々の誇りであり、下田らしさを象徴するものです。

下田まち遺産を含む周辺一帯を美しくすることは市の価値を引き上げ、下田特有の個性や魅力を引き出す有効な手段となります。

併せて、市内に点在する観光地において地域特性を理解してその活用を図ることは、観光地としての質を高めていくことにつながります。

市では、今後とも景観資源の保全・創出をするとともに、施設整備をする際の周囲との調和にも取り組んでまいります。



地域の皆さま、有識者の方々と意見交換をしながら地域の良さや問題点を洗い出します。

下田まち遺産 トピックス!



みんなと一緒に
下田まち遺産を学んでいます

今年度も市内各小学校や地域の老人会などを訪問し、下田まち遺産について説明しました。



下田まち遺産手帖を
発行しました!

今回の特集は、武ガ浜波除です。市役所等公共施設のほか、市内の店舗で配布しますので、是非ご覧ください。